

The Journal of Global Studies

ICHINOMIYA NISHI SHS June.2022

5月26日(木) 名大スタディツアーを再開しました！

新型コロナウイルスの流行以来、中止せざるを得ない状況となっていた名大スタディツアーを再開することができました。この行事は、国際理解コースの1期生の頃からあるものなのですが、再開した今年、新たなメニューが加わりました。それは、本校の国際理解コースを卒業し、名古屋大学に進学した8人の先輩達との交流会を設けたことです。そしてその交流会の開催に尽力して下さった、名古屋大学経済学部の土井康裕教授からお話を頂くことができました。

* 名大スタディツアースケジュール

13:30~14:35 大学院生、名古屋大学国際開発研究科の留学生との授業

- ・留学生が取り組んでいる研究についての発表を英語で聞き、ディスカッションを行う
- ・日本人大学院生がサポートしてくれるが、できるだけ英語で話す努力をする

テーマの例

ブラジル出身修士1年: 国連と軍縮/大量破壊兵器の不拡散

ナイジェリア出身博士課程: ナイジェリアにおける10代の妊娠に対する労働市場のペナルティ

マラウイ出身修士2年: マラウイの税制について

インドネシア出身博士課程: インドネシアにおける外国直接投資流入の決定要因

14:45~15:30 大学院生の指導のもと、ディスカッションのまとめをする

15:30~16:30 経済学部 土井康裕教授からのお話
国際理解コースの卒業生との交流会

名大スタディツアーに参加した5期生(現2年生)は、この行事を通じて、英語を学ぶモチベーションを上げ、様々な国や世界の問題についての視野を広げたいと思うようになったようです。コロナ禍が続く中でもできることは増やせます。興味をもった皆さん、是非来年度の名大スタディツアーに参加してみませんか。お待ちしております！



《5期生の感想の一部》

- ・ サポートして下さった大学院生の方は、流暢に英語を話すだけでなく、わかりやすく内容を説明してくれた。これが本当の英語力なのだと思う。私も自分の意見をしっかり持って、日本語や英語をツールとして駆使できるようになりたい。
- ・ 留学生の方のお話を聞いて、アフリカの税制に興味を持ちました。課題研究などで調べてみたいと思います。
- ・ 英語が大事というより、英語を使って何を伝えたいのかが大事といわれていた。英語だけでなく、他の教科もしっかり勉強しようと思った。
- ・ 国際理解コースを卒業した人でも、選んだ学部や専攻内容が人それぞれ違って、このコースで学んだことや経験したことの活かし方に可能性を感じました。興味を持ったら、いろいろなことに挑戦したいと思います！
- ・ 大学選びのこと、サークルのこと、こつこつ勉強することの大切さ、留学のことなどについて聞くことができました。その中でも、先輩方に共通していたことは、自分から行動していることだったと思います。
- ・ 卒業生の先輩が明るく堂々とお話されている姿が印象的でした。人前で魅力的に話せるように、STでの3分間スピーチやグループでの発表の機会を大切にしたいと思いました。
- ・ 大学でたくさんの方に挑戦し、経験することがとても楽しみになりました！